

スケ番チェッカーの概要

スケジュールの番人「スケ番」によるプロジェクト管理の進捗状況を、効率的にチェックするツールです。スケ番チェッカーを使うことにより、スケ番を起動しなくても遅れているタスクを探し出し、プロジェクトメンバーに通知することができるようになります。

スケ番チェッカーのインストール方法、起動方法

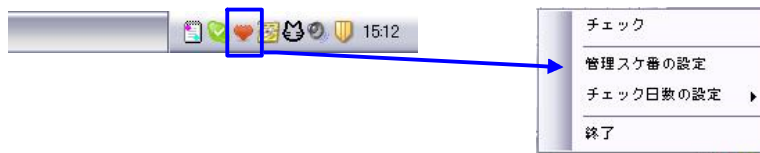
1. 以下のファイルを任意のフォルダに保存してください。

SukebanChecker.exe

SukebanChecker.exe.config

2. [SukebanChecker.exe] をダブルクリックすればスケ番チェッカーが起動します。

スケ番チェッカーは常駐アプリですのでタスクバーに表示されます。



右クリックによるメニューから各機能呼び出します。

スケ番チェッカーを使用する前の準備

1. 管理スケ番の設定

[メニュー] → [管理スケ番の設定] から管理するプロジェクトのスケ番を登録してください。画面中央にドロップエリアが表示されますのでファイルをドロップすれば登録完了です。

2. チェック日数の設定

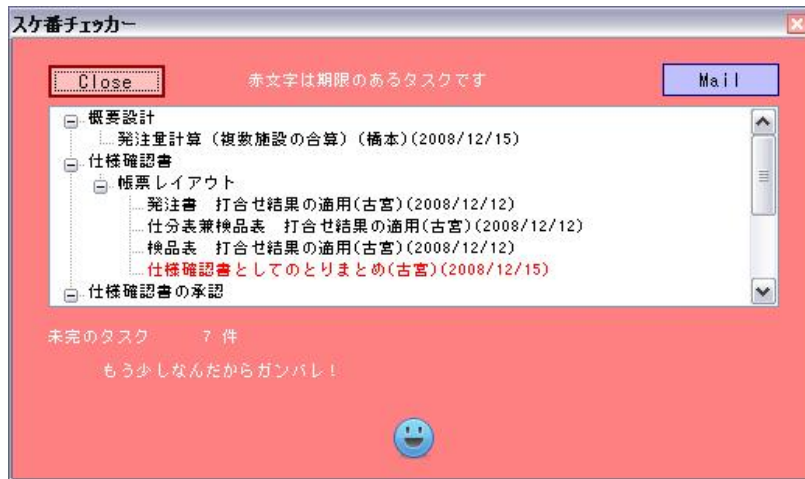
[メニュー] → [チェック日数の設定] からスケ番の進捗をチェックするときに「何日前時点でアラートする」かを設定できます。当日になって遅れを認識しても「時すでに遅し」となりますので、プロジェクト規模や難易度、メンバーのスキル等に応じて設定してください。0～99日前まで設定可能です。

スケ番チェッカーの機能

① チェック

[メニュー] → [チェック] からスケ番の進捗をチェックできます。結果は「最上位」「下位」「WP」を階層表示しています。ここに表示されたWP（担当者や終了予定日が表示されているタスク）が遅れているタスクになります。また期限のあるタスク（主にクリティカルパス上のタスク）が遅れている場合は赤字で表示されますので要注意タスクとして重点管理してください。

チェックをすると、未完のタスク数が表示され、キャラクターが評価してくれます。すばらしいプロジェクト管理をしている場合は良いことがあるかもしれませんよ。



② メール送信

[Mail] をクリックすることで、チェック画面から遅れているタスクをメール送信することができます。そのままプロジェクトメンバーに送信して仕事の遅れを取り戻せるよう促してください。

以上